
白ウサギの気紛れ

聖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白ウサギの気紛れ

【Nコード】

N7036T

【作者名】

聖

【あらすじ】

主人公は、気がついたら死後の世界にいた、そこで人の生をつかさどる神に会って死んだ事を知った！でも気にしない気にしててもらちが明かない。

神に転生という名の穴に落とされ、黒い空間から押し出される感覚……これが噂のやつですかい？新しい名前も貰い。これから大変なことになるそうです！！（笑）

処女作です。文才皆無でg d g dです。ほとんど会話のみで構成されています。

毎日更新は無理よ、だってネタという妄想力があまりないんだもん。話しの流れが意味不明になったら一端読むのやめた方がいいよー、読みに来てくれる方ありがとう！

ハローハロー死後の世界（前書き）

gd gdな二次元創作です。

それでもおk？ おkな方はこのままお進みください。無理だと思
った方はバックをお願いします。

主人公の名前どうしよう……（・ー・；）

ハローハロー死後の世界

.....き.....!

.....おき.....!

.....ううん.....?

.....おきも.....おきなさーーい!

ガンガンガン!

ガバツ!

「うわあ?!? (。D。)

え? つちよ...なに!?

【ふう...やっと起きた...、てか何時間寝るつもりだったのさ

後ちよつとで消滅してたよ(笑)】

「いやいやいやいや!何その(笑) って!手か消滅って何ぞ?」

【え? いやだから、魂が消滅しちゃうぞ☆って話】

「……………は？」

【いやだから、魂g「それは分かったから」本当に〜？】

〜省略〜

「事故って死んで死後の世界……てこと？」

【そうだよ〜正解〜大正解！ピンポンッピンポン！p（＊＾ー＾＊）
q ♪】

「（最後の顔文字ハラタツな…）で？」

【で？って何？】

「はぁ〜…、自分は神だー！とかそういうオチじゃないの？」

【あ、うん僕は神だね、それが？】

「天然？」 【ノット天然！】 「意味、解ってるの…？」 【いや、わざと。】

「インディグネーションくらわせようか？（＾言＾）」

【ごめんなさい；；；】

即答かよ！面白くない……

【（ブルッなんだ？寒気が…）ゴホンッ、じゃ本題入ろうか♪】

「はいはい」

【とりあえず、君には異世界に転生してもらいます！】

「……………とりあえずってなんだよ！」

【え？ツツコムとこそこ？】

「自分的には」

【あ…ああ…はい、じゃ次！3つまでなら何でもかなえられるよ！
あ、でも神様みたいなことはできないよ〜】

「たとえば？」

【死人を生き返らせたり、無から有を作り出したりetc etc…
…】

「あれ？でもうみねこのマリアちゃんは無から有を出してるよね？」

【あれは、ああいう世界だから………ね？】

「ああ、何となくわかった」

【それと、転生する異世界はランダムです】

「は？ガンダム？」【ランダム、テキトーの方】

「ああ、ランダムで選ぶんだ…」

【だって、めんｄわー!! ごめんなさい! ごめんなさい! うそうそ冗談です! だからソレしまって!】

「……チツ」

【え？　なんで舌打ち！？　まさか本当にやる気だったんじゃないや……ってギヤアアアアアアアアアアァー！】

しばらくお待ちください

【し、死ぬかと思った……】

「で、3つだけ？」

【あ。うん願は3つまで。お決まりでしょ?】

「うん、お決まりの数字だね。」

「じゃ、1、身体能力あげて」
【ok】

「2、念を使えるようにして」

【あ、うんソレならなんとかなるかも……「よし、じゃおk」人の話行きてー！】

「3、どんな言葉でも日本語に聞こえて話せるようにして」

【嗚呼聞いてくれないのねグスン　でたとえば？】

「本当はイタリア語しゃべってるのに日本語に聞こえる逆も然り」

【ああ、そういうことか、それならおk】

つとなんかガサゴソやっている神……

「ところで、あんたは何をつかさどる神なの？」素朴な疑問をぶつけてみたり……

【え？あ、うん人の生をつかさどる神だよ〜工作中よく間違えて大神様に怒られるけど（へーへ；）】

「だめじゃん」

【うん、ダメダメだよ。でも今回はちょっと訳有】

「そうか……」

？

ちょっと待てよ？もしかしてそのわけ理に巻き込まれたのかい？自分分は」

【うんそうなちゃうね！☆ だから他の人たちとは違う得点が付いてるよ？】

「何？その得点って……」

【それは転生してからのお楽しみ〜♪】

「はあ…」

【よし！準備で来たー！】

「さっきからガサゴソしてたのはそれだったんか…」

【うん、そうだよ〜】

「で、世界だけど…【あ、それならもう決めた】は？ウソ？マジで

「？」

【うん、マジで】「……………」【無言はやめて怖いから】

「ハテ何ノコトカナ？」

ハローハロー死後の世界（後書き）

さてと、取り合えず、ここでいったん終わりにします。
続きが思いつくまで何日かかると思うんで；；

自分が書くものはしゃべってる部分のみが多くなります。
いや、だってわかんないし……他の人の小説とか読んで研究しま
す。

そのそいで似てしまうかもしれませんがすみません。
転生する世界は知っている人は知っているマイナーな世界です。っ
てもうわかってるか……

ハローハロー次の世界（前書き）

まだ、主人公の名前決まっていけないけど2話目。
今回もgdgdそして撃沈。

ハローハロー次の世界

「ところで、ドコの世界に行くわけよ？」
【う？え〜っと・・・】

”hack”?

.....
WATT?

「え、マジで？本気で・hackなのかい？」

【うん、しかも誰かの幼馴染ポジション】

「お前いっぺん死んでこい！！てかだれかって誰だよ！」
〈秘密ですw〉

【いやだよ！何で死ななくちゃいけないのさ！この女顔！】

「人が気にしてること言うんじゃないのさ！えええええー！」 スッパ
アーーーーーン！↑！？

【痛ッ！なにもハリセンでたたかなくてもいいじゃん！てかそれどこから出したのさ！】

へえ…影からだよ、てか夢みたいなものだから何でもありですww

「え？あ、ホントだハリセン握ってらww」

へなんかもう……転生させる気うせてきたんだけど、どうしよう…
…こっからどうもっていかうかby作者

「あれ？なんか聞こえた気がするんだけど？」

【気にしなくたっていいよ、作者の愚痴だから☆】
へあれ？ ひどく
ないこの子？ 〽

あれ？ ひどく

【「黙れよ、馬鹿（言）」】

↑
.....
クスン
↓

5分後

【じゃ、あっちのセカイでも頑張っ
てねえ♪】

「は？ っ て ち よ ち よ ち よ ……！ お ち る ……！ ……！ ま
だ 聞 い て ね え こ と 有 る の に ……！」

【逝ってらっしやーい♪】

「字が違ええええええええええー！！」

てのが約てか体感時間（？）で5時間前もしかしたらもつと長いかも知れないけどね、暗くってわからないんだよねこれが…。

まあ、なんか温かいモノに包まれてるからいいけどさ、砂嵐と太鼓

の音がやけに近くで聞こえるんだよね…
どうしようかな………

なんか、眠くなってきた………よし！こういうときは寝るのが一番だ！そうだ、寝てしまおう！

瞼がショットダウンー

（意味不明な最期の言葉だな……）

ハローハロー次の世界（後書き）

読んだ人！感想長大な、ここをこうしたらいいよとか
アドバイス也大歓迎！

バイバイ暗い世界 4／13 (前書き)

タイトルと関係ない内容になるかも……………？

相変わらずgdgd OTL

誰か！国語理解力と文の才をくれ！

バイバイ暗い世界 4／13

あれから何時間たったんだろう……一週間？ 一か月？ はたまたまだ一日目？

ってそんな分けあるかー！ー！ー！

冗談もやめてくれて話だよ！

現在進行形で外？ 時から声聞こえるし！

砂嵐と太鼓の音で聞き取れない……

（聴き耳たててみよう……

「……………に……………くれ……………な？」

「あ……………じょう……………ぜ……………」

うん、聞き取りにくい！ でも、男の人と女の人がしゃべってるのはわかった。

でも、男の人の声は寸ごくかすかな………近くにいないのか？

まあ、でもいいか 太鼓の音が子守歌に聞こえてきて………もう無理、寝る！ 寝ます！

（一、一） Z Z Z

てかさ、なんかさ、押し出されてる間隔があるんだけど……

さっきまで温かいモノも消えてるし……

あ、ちょ！痛い痛い痛い痛い痛い！ちょっと！マジで頭が痛いんだけど！

ぎゅうぎゅうされてるよ！脳味噌出ちゃうよ！

って眩しい？！（。D。；）

「オンギヤアアー！オンギヤアア！」（頭……痛すぎだよおおお
おおおおお！）

う”う”う”——…眩しくて目が開けられない……
ってオンギヤアアー！ってもしかなくっても俺の声ですかい？

「龍崎さん！元気な女の子ですよ！」

「嗚呼、元気に生まれてきてくれてありがとう……」 美人な
お姉さんが泣いてるよおー

うん、感動的な出産だけどさ、なんで俺……

………女の子になってんの？

え？なにあの神様、俺の性別変えちゃってんの？

って、いつの間にかさっきと違うトコロだし（現実逃避してたわW
W）………イケメンお兄さんに抱っこされてるし……

「君の名前はね…何がいいかなあ？」 「あ？あーうい？（は？お

兄さんが決めれば？」

「うん………………よし！」

決めた！この子の名前は”龍崎白兔” うん、”白兔”にしよう！」

「あーう（わーお）」

「ふふ、返事、したね。これからよろしくね白兔」

「「この子の未来に幸多からんことを……！」」

バイバイ暗い世界 4／13（後書き）

はい、どきくさにまぎれて主人公の名前けてえーい！
龍崎白兎Cです。

男のままにするか、女の子にするか迷ったけど
ベーコンレタス苦手だからさ、書けないんだよ…！

CP考えたら女の子の方がいいかなアーって……この話はおいおい
にと

いかがだったでしょうか？これから幼少期に入ります
メインキャラクターたちが出てくるのは小学校からです。
結構、道のりが長いね……………
その前に、設定のやつ載せないと……

書く前に思っていた初期設定と書いて追加した設定。

龍崎 リュウザキ 白兔近作の主人公、でも女の子 ハクト

前世名 カリノコクト
猪野刻斗

前世名は昔考えていた武器の名前から抜粋

男か女か迷っていたけど腐ってはいないので女の子にした。

それ目や手だった人は、勝手に妄想してて下さい。人の考えは否定しない主義なので。

つというか、この小説も自分の妄想の産物だしねww

髪の毛とか目の色はアルビノなのでまさに白ウサギww

とちゃんとWikiで調べないといかん……

お母さん リュウザキ

龍崎 ミコト 美琴 美人です、リボーンの奈々さん並です（心とかが）

お父さん リュウザキ

龍崎 アキラ 明 イケメソお兄さん（ほそマッチョ……？）

この二人の年齢ですか……。？夢を壊さないでくれる年齢です☆

さて、主人公にはこれからいろいろ興味思ってもらって3つの願いおこなえてもらわねば……

そのためには足技とか覚えてもらわないとだめだよね……………

たぶんカメラ更新になると思います。

寝てやろう！
(前書き)

すんごく短いよ

寝てやろう！

はい、あれから何か月かたちました。

マミーの母乳飲んだり おしめ変えたり
哺乳瓶からミルク飲んだり パピーにダコしてもらったり
マミーに子守唄歌ってもらったり……

前半のはさすがに羞恥心で死ぬかと思ったよ！マジで！
はぁ〜ストレスデシニソウデスヨマイシスター（笑）

まあ、もう関係ないけどねw

ガチャ 「ただいま〜」

あ、パピー帰ってきた………寝てやろう（V）ニヤアアリ

そのあと、パピーがおお泣きしてマミーが慰めたのは当たり前のことだった

（いい大人が何泣いてるんだか………）
へいはいや、アナタがからかってるからでしょうに〜

（作者もパピーのようになりたいですか？）

へイエ、遠慮シマス。〈（そう、つまらないの…）

へこの子怖ーよ…；どうしてこうなったんだろぅかなあー…；

寝てやろう！
(後書き)

突発的に思いついたことだったのでかなり短くて済みません；；

猫を拾った かわいいかわいい黒猫を（前書き）

3分クオリティー

てか、ネタが思いつかない……

猫を拾った かわいいかわいい黒猫を

あれから数年、ボクは3歳になりました まる

公園デビューとかお決まりイベントがずらずらあったけどそこは段ボール箱と一緒に胸の中でブラックボックスとかすんだよ。

え？今どこにいるのかって？お隣さんの家の子と一緒に外で”外”で遊んでいますね ハイ。

「しろちゃん、しろちゃん、」
「？」

「だれとはなしてるの？」
「ひみつ」

「ふ〜ん…、！」
「おやおや、何か見つけたようですね。」

「しろちゃん、ネコさんがいるよ」
「？ あ、ほんとだね」

よく見てみたらその猫はけがをしていたので家に連れ帰りました。
抵抗？うんしたね、ニッコリ笑ったら大人しくなったよ。

「ママー！ネコけがしてるー」っていったら救急セットもって来ましたよ

その後の治療が眼にもとまらぬ速さ……さすがマミーだぜ…

そのネコはうちに飼うことになり、お隣さんはうちでよく遊ぶようになりました マル

（猫の名前どうしよう……）

へもう決めてあるけど？（じゃ、それでいいや）

へ投げやりだね……（まあね、でなんて言う名前なの？）

へスクルド（意味はなんなのさ……）

へノルンの3女神の1人で未来、負債といった必然性を司る女神。

（よし、決定！）

猫を拾った かわいいかわいい黒猫を（後書き）

はい、すつとぼしました。

だってネタが思いつかないんだもん

誰か、アドバイスをくれ……（ゝ・ω・）

猫の名前はスクルドにけてーい

ちょっと変？ (前書き)

gggデキトー

だっと思いつかなかったんだもん

ちょっと変？

あれから一週間がたちスクルドは元気になりました マル

「でもさ、驚きだよね……まさか猫としゃべれるなんて…」
『動物全員としゃべれるよ、というか名前を呼べ名前』

ウンウンとうなずく鳥ども……焼き鳥にしてやろうか！？
たげて…
へやめ

「でも、まあ情報収集にはもってこいだな……」

『（この子……将来大丈夫かな……？）』

猫に心配される主人公って一体何なんだろう……？

ピンポーン♪

「あ、来た」トテトタッタッタガチャ 「りょうくんいらっしや
い」「おじゃましまーす！」

元気にあいさつするお隣さんの子 三崎 亮くん 楚良てかハセヲ
のリアルである。

でもまだ3才なんだよね……

で、いつの間にか居間に到着。

亮くんはスクルド見つけると一着千に走って行った……ごめん、ス
クルドしばらくかまっというてb

『薄情者ー！ー！』っという叫びは無視して台所に直行。

親はどうしたかって？両親ともに仕事中もち亮くんの両親も。（でもお昼過ぎにはママが帰ってくるよ！）

現在午前9…30だ…

昼飯は冷蔵庫のあっためるとして…飲み物、飲み物…

オレンジジュースはっけーん！

「しゅば！しろちゃんなにしてるのぉー？」

「オレンジジュースついでのー」

「ふーん」つつまらなそうな亮くん

「オレンジジュースのむ？」

「のむー！ちようだいーい！」

コップを出して亮くんの分もついで渡した

その後、本読んだりお庭で遊んだり、

お昼食べたり（ハンバーグでしたウマウマ）

スクルドと亮くんとお昼寝して6時までアニメとかみて

ママが（買い出しから）帰ってきたからお手伝いして、夕飯食べた後に亮くんのママさんがきて亮くんは帰りました。

「白兔ー、そろそろ歯を磨いて寝なさい」「はいーい！」

ゴシゴシ グチュグチュゴゴロ ペッ

トコトコ「ママーおやすみー」「うん、おやすみ。」トコトコツタ

ツタツタツタガチャツバタンツ　ボフーン

「（そういや、今日の亮くん様子がおかしかったな…てかもろに楚良の口調だった…

まあ、明日合えばわかるだろうに…絵本破いたのにはビビったけど…」

5分後、白兎の部屋からは寝息しか聞こえなかった…。

スクルドはどこで寝るのかって？居間（一階）のソファアが寝床です。たまに誰かの布団の中です。だって猫だものww

ちよつと変？（後書き）

前回と口調が違ふ……

追加設定でもやってみよう！

ぜってー危ない方向に行くよこれ（スプラッタナ意味で

づぎのは……どうしよう……？

サブタイトルの日ズケは何かって？その日の出来事です。

あらら・・・(前書き)

またもや遅遅

あらら・・・

今日も両親ともに仕事場に出勤しました。昼飯はまた冷蔵庫のやつあつためてつとのこと……

ふつう3歳児を家におさせるか？遠まわしに聞いてみたら、保育園？幼稚園？どっちだっけ？に通わせる手続きしてるんだってさ……、
どんだけ時間かかってんのさ……って仕事が忙しいからパツパとできるわけないか……

てか「白兔は頭いいから大丈夫だろ？」ってパピーあなた頭大丈夫……？って本気で思ったよ……
もうあれだ……うん……諦めよう……パピーに何言っても無駄だ……

「しろちゃんなにしてるのー？」

おっといかんいかん亮くんもういたんだっけ……；

「かんがえごとだよー」

あ、今聞いた方がいいかな……？

「ねえ、ねえ、りょうくんてにじゅうじんかく……？」

「にじゅう……なに？それ」

わかってないようなのでまあいいか……

それからの流れは昨日とあまり変らなかった、ただ違うのは6時に亮くんの両親と自分の両親が居間で話し合いをしていたことと

亮くんがまた楚良口調になっておばさんたちお困らせたことだけ
だった……

言うこと聞いてくれたのはうれしいけどね？ 何でおばさんたちの言
うことは聞かないんだろう……？

可愛かったけどさ！↑

あらら・・・(後書き)

短!?

ミサンガ作りながらだとやっぱり短いな……

幼稚園に通います(前書き)

はい、思いつかずつとばし
あいかわらずのささ

幼稚園に通います

わーい今日から＊幼稚園児だー↑

はい、もう自暴自棄の白兔です。

やっと入園轍好きが終わり、このたび晴れて幼稚園児です。
うちの親のんびり？ いや忙しすぎるだろ……

＊満3歳から小学校に上がるまでの子が年相応にーとかなんとか
ウィキで調べてね☆

しかも、自分の体質のせいで肌痛いし……！

＊アルビノは紫外線に弱いのです、日焼けしたらそこが赤くなって
ひりひりするんです。

まったくもってありがたみもない！ 綺麗って言うてくれるから別に
いいんだけどね！↑

………亮くんはいいでしょう！ なぜちびっこどもが集まるん
だ！？

キャツキャツ

「すごーい！ かみのけまっしろー！」 「きれー！」 「かわいいー！」

そのほかいろいろ言われましたとも！ お兄さん精神的ダメージ99
99食らいましたよ！

残りライフ1ですからもう周りに来ないでええええええええー！

先「はい、じゃ今日からみんなのお友達になる龍崎白兔ちゃんと三崎亮くんです！みんなー仲良くねー？」

「「「「「はい！」「」「」「」

元気だね・・・亮くん半分呆れ顔……………こんな子が将来へタヲになるのか……。

そのあとちびっこたちと砂場で遊んだりおいかつけこしたりお昼寝したりしました

翌日、お昼寝の時にちびっこたちに子守唄をせがまれたのは言うまでもないことだ

（しろちゃーん！お歌うたってー！）（はぁ…）うん！いいよ♪）

亮くんがすごい形相でにらんでるのも知らないまま……………

幼稚園に通います（後書き）

なんか・・・主人公のキャラがつかめない……
どーしょ？

オーヴァンのBGMは赤飯の歌にしか聞こえない……

お昼寝の時に……………(前書き)

番外編で言うかあれだね、ただの気分転換。
うたっていた歌が子守唄という奇跡↑
そのまま小説に使う馬鹿
相変わらずの g d g d

アニメ、ゲームの挿入歌とかいろいろ

お昼寝の時に…………

先「みんなー！お昼寝時間よーー！」

どうも、もも組の龍崎白兎です、どうやらい眼からお昼寝のようです
ね……

めんどくさい↑

まあ、家でも寝てたしいか てかちびこったちのあの元氣は付いて
いけない……おっさんもうライフO
もう爆睡してしまおう！

「しろちゃん」

「なに？りょうくん」

「うた、うたって」

W a t t ? おいおい亮くん少年や、今この場でてか駄声で歌えとな
……？シネル……

「うーん……いいよ……」

ニッコリ「ありがとう」

それはもうかわいらしくにつこりと…

…亮くんお嫁に来ない？

「うん、いいよ」

?!?(。D。)

「しろちゃんってわかりやすいよね…顔に書いてあるんだもん

うゝそだみょん♪」

……さすが、楚良でもある亮ちゃ ゲフンゲフン 亮くん、観察
力ばねえー！

「で、なに歌えばいいの？」 「なんでも」 それが一番困るんだ
ぜマイブラザー

「ふゝん…じゃ、ランダムで♪」 「ん」

そしてなぜか周りにはちびっこたち……もちろんもう寝っ転がって
いますよ、皆さん

そして幼稚園のセンサーーイー！なぜそんなに微笑ましいものを見
るような眼でこっちおみるんだすかい！？

もういいや、歌っちまおう！そしてさっさと寝よう！↑

「トウエ レイ ズエ クロア リュオ トウエ ズエ

クロア リュオ ズエ トウエ リュオ レイ ネウ リュオ ズ
エ

ヴァ レイ ズエ トウエ ネウ ズエ リュオ ズエ クロア

リュオ レイ クロア リュオ ズエ レイ ヴァ ズエ レイ

ヴァ　ネウ　ヴァ　レイ　ヴァ　ネウ　ヴァ　ズエ　レイ

クロア　リュオ　クロア　ネウ　ズエ　レイ　クロア　リュオ　ズ
エ　レイ　ヴァ

レイ　ヴァ　ネウ　クロア　トゥエ　レイ　レイ　×2」

もう一曲歌ったら寝よう……

「このまちにはたくさんの方がねむっている
ずっとこのままかわらないたいせつなわたしのふるさと

おじひろさのはずなのにかいのそらはなぜせまいのだろう
ほしのみえないまちがあることなんてしらなかった

そろそろこきょうのそらが
みたいころ　かえってみようかな・・・

べんりなものはにひつないけれどそれでもいい
ここにかかるばしょがあるそれだけでいい　ぬくもりがあるこのわた
しのふるさと」

よし、みんな寝たからもう寝よう！

モゾモゾパタリ・・・スースー

>side　亮く

ボクのとなのうちにはかわいいおんなのがいる。かみのけはしろくってめはあかくって、まるでウサギさんみたいなカワイイこが…！

いっしょにあそんだりスクルドとあそんだり…：ボクはクチベタ？だからあんまりしゃべらないけどしろちゃんはわかってくれる。

（いやいや、結構しゃべってますよ！？）

あ、しろちゃんっていうのはとなりにすnderおんなのこのことだよ？

えっと…なまえはたしか…りゅうぎはくっていうんだって、はくってシロウサギってかく（ママがいった）からしろちゃん！

でもね、ボクにはひみつがあるんだ！それはねもうひとりボクがいること

ふつうじゃおかしいからパパとママがいにはいっていないけど、しろちゃんはすごいんだ！

もうひとりのボクがでてきてもびっくりすることはないんだ！にじゅう？なんだっけ？ってきかれたけど、

しろちゃんなんにもきかずにうけいれてくれたんだ！

（妄想力すげえー！何気に勘違い系は言ってるし…：どうしよう…：？）

だから、ボクはしろちゃんがだいだいだーいすきなの！それにしろちゃんはおうたがうまくって、きいてるとねむたくなっちゃうんだよね…：なんでだろ？

でもね、しろちゃんはようちえんのくにさいきん、とられちゃうんだ……

しろちゃんはボクのものなのに！

でもね、おひるねのときにおうたをうたってくれたからゆるしてあげるんだ♪

>side 終<

少年は気付かない、それが嫉妬ということを……。 みたいなの？

お昼寝の時に……………（後書き）

譜歌とヒーリングデュオ

うんでもって、スルーしてた二重人格ここで書くというふざけたことをやってみた。

モチ、もう一人の子のことも書くよ！名前どうしよう……

5／17 行事 (前書き)

前回!という名の挫折?難産?粉碎骨折?だった二重人格たぶん出るのかわかんない……相変わらずgdgd

ただの分だけ、会話文少ないよ

5／17 行事

昨日、先生たちが「明後日は遠足よ♪」発言で亮君は目がきらきらしています

この子こういうこと好きなんだ……と今更ながら気づいた白兔です。まあ、今日も今日とてあれだけど……

帰りに冒し買って帰ります、もち明日の分と今日の分です？（自分にハートとかきもいな…

登園して最初に先生に挨拶してみんなで遊んだ、亮君は部屋で本を読むとか言っていたがそんなもん無視して強制参加させてやりましたww↑

その時ボソッと怖いこと言われましたが気にせずスルー だって気にしたってらちあかないもん

っていうか自分蒙古の体になじんでるな……つとのんきに考えながら全力ダッシュ

なにをってるかって？鬼ごっこです！しかも全力で！
だって亮君自分ばっか狙ってくるんだもん……そりやもう獲物を狩る目をした獣のごとく……

（なんか某マフィアマンガのひばりんみたいだ……）

そんなこんなで、結局亮君につかまりギュウウー！って抱き疲れて放してくれませんでした（罰ゲーム的な何か）

そのあと、部屋に入ってグータラして（抱き疲れてるから動けないんだよ！）先生の「集まれ〜！」ボイスでみんな集まり

いろいろやってお昼ご飯食べてお昼寝してまた遊んだりして帰りました。

家からどのくらいの距離って……徒歩20分のところにあるよ

その間に商店街を通ってショウトカットするかしないかで5分も違うよ

もち、商店街と売りましたとも！駄菓子屋によるために！

買ったお菓子は300円以内です！フガシうまうまw

2人で帰っているの？いえいえ先生と一緒にです！なぜかって？そんなもん自分も知りません！へおいおい

まあ、小さい子二人で帰るのは良くないしね！亮君がショタコンに連れて行かれちゃうしね！↑自分が入っていないのかい！

「とーちゃーく！」 仲良くハモリン

「じゃ、白兔ちゃん亮くんバイバイ♪」 「せんせいバイバーイ

！（・w・）ノシ」

テッテッテガサゴソ：ガチツガチャガチャガチャンツ！キイイイ：

「「ただいまー／おじゃましまーす！」」 バダンツ

それからなぜか亮君にずっとギュウウウーってされました。

5／17 行事 (後書き)

はい、いつものごとくgggg

うん、2週間くらい飛ばそう！そうしようそうしよう

作業BGMはクレイディ・クラウンでした↑これ変わらず

5／18 遠足（前書き）

夜中に作成

涼しいときにやるのが一番！

5／18 遠足

わーい えんそくだー (棒読みちゃん風)

どこに行くのかって？ ○○○公園だよ 徒歩で40分くらいかな？
敷地が広いのなんのって……広すぎて迷子になりますw

お昼までみんなと一緒にって幼稚園と安間かわらんよ……でもなぜか亮ちゃんはスнге機嫌がよかったです；；怖いくらいにって観察してみた

1、楚良みたいな口調だった……バビューンとかね

2、いつもは首にぶら下げてるのに……バンダナを頭に今日は付けております！

前髪チョット長いから……伸ばしたらマジで楚良だ……！

しかも……

「キャ————！ 亮くんやめなさい」

現在進行形でガキ大将ともジャイアンともいえる子たちを殴ったり蹴ったりして沈めてますww

理由？ そんな簡単だと思うよ？ 亮くんがつけてたバンダナをとったからですwお決まりのセリフ付きで！

聞いた瞬間吹き出しそうにな茶ったじゃないかwww今も肩震わせてるけどね☆

あ、亮君が捕まった……よし、助けに行ってあげますか……

ダダダダダダダ！

「りょうくんをはなせー！この！まけいぬどもー！」背中にキック！

「「うわあ！？」 ドシーン キュー（×∧×） 亮君はつぶれる前に転がって逃げましたマル

「関係ないお前がこっちくんやよ！化けもの！」

うん、なんかムカツクこといわれたような気がするんで切れまーす！★

「ギャーギャーうっせんだよ……この負け犬どもが……！」

皆　？！？（。D。）

「人の物としてはしゃいでんじゃねーよ！てめえーら親に人のものはとっちゃいけないって教わらなかったのかよ！」

「で……でもそいつが……！」

「デモだろーがなんだろーが！かにさわろーが人のものとするんじやねーよ！」

つか今さっき人のこと化け物とか言ったやつ前にでて来いよ！出て来ないのか？ハッ！弱虫が！

てか、髪が白いから、髪の毛が自分たちと違うと化けものなのか？目の色が赤いから化けものなのか？

ちげーだろ！人の外見で菅てきめんじゃねーよガキが！」

「「「なっ!?!ガキZY「ガキだろーがいちいちくってかかてくンナボケども……!」……」」

〈5分後〉

「「「ご……ごめんなさい……」」」 「よろしい」
自分の身長よりも高い悪ガキどもに上野でわかるようマジギレ?なのかどうかわからないが説教してしまった……;;
しかも、正座中。モチ亮くんもです

先生たちとちびっこどもの顔が蒼いのは気のせいです!手かそう思いたい……

後日、亮君から遠足の日のことを聞いてみると、「うしろにマオウがコウリン?してた……」
っと言われてしまった、そんなに怖かったかな……?

＊白兔にとって自分の”色”を侮辱することは禁句です、なぜかって?親に貰った色だからw

精神年齢20代後半30代前半です

5／18 遠足（後書き）

玉碎！火碎！大火災！（社長からお借りしました

次はすつとばして”訳有”を出していいのかな？

あ、そうそう・hack／vol2 悪性変異 買いました！
SIGNはアニメだけど動画投稿されてないもしくは削除されたか
で見れないので、そこらへん的一です；；すみません

今持っているのが腕伝1～3巻と無印の1・2だけです；；

情報足りなすぎて変になるところがあると思うけど気にしないでください。

それでも気になる人は細かくなくていいです けど教えてください

それと、この小説面白い？

何か不安になってきた……………個人の趣味でやってるんだけどね；；

夢、誰も知らない真実を

(前書き)

タイトルをちよつとふざけてみたWWW
良い意味・悪い意味どっちは読んだ人による

夢、誰も知らない真実を

フワフワ

「うーん……ここどこ？ 確か……家に帰ってきて、

遊んで、夕飯食べて、

遊んで、風呂は入って……

寝たんだよね……？」

あるえ………？

わからないからしばらくフヨフヨしてしよう……

ってこれ夢か……納得納得………やっぱフヨフヨしてしよう………

【ハッロ————！白兔ちゃあ————ん！】

バツ 「へっ？ってグハッ！？」

なぜか人の生をつかさどる神様（笑）が居ました……………

「で？なんているの？仕事はどうした神様（笑）よw」

【あっヒッドーイ！何で（笑）がつくのさ！はずしてよ！

ってそうじゃなくなつて……

つたでしょ？】

前に話した”訳有”ってあ

「ああ…あつたね…でそれが？」

【もうすぐで接触します☆ってかその子……………】

「てかその子？続きはなんなのさ……」

【ザ・ワールドと戯言混ぜちゃったようです！で、特典のことだけ

「どうした？」 【白兔ちゃんのお父さんて……血の匂い玉にs」
するな…ってまさか…？」

そのまさか……かはどうか知らないけど…… 零崎^{サツジンキ}みたいだよ…】

「くっら！？いきなり雰囲気が暗くなったよ！？ってそれ普通に気づいてただけど…」

主人公の嗅覚が100上がった！ピロリロリ〜ン♪↑

＜以下 父母の血の混ざり

父 零崎・石風・闇口・一般人 つまり…4／1だけが普通 スト
レス発散が人殺しって…；；

母 罪口・咎風・一般人 つまり…3／1だけ一般人

呪い名・殺し名は先祖のだから薄いけど二人ともちよつとだけ先祖
がえり…

父の（零崎）は10歳のころに開花＞

って……

えっと……どんだけかわりがあるんだい我が両親よ……
そこに爆弾が投下された

【あ、白兔ちゃんは完全先祖がえりだ……ヤッタネ☆

え？なんで？】

「こっちのほうなんでだよ！？ふざけんな——！！」

トータルで見てもおかしいじゃねーかよ！なんで《闇口》の対極の対極の対極の《罪口》が一緒にあるの！？

あり得ないでしょうが！！」

【まあ…いろいろといいんじゃないの？】

「はあ？なんでだよ？」

【だって、殺し名の”殺人鬼” 暗殺者” 死神”、呪い名の”武器職人” 預言者”だよ？

最強でチートもいいところだよ………；；；】

「うん、そうだけども……殺し3の呪い2の一般2って……」

本当にチートもいいところだよ…；手かありえねーだろいろいろ考えると…

まず第一に、父さん…よく結婚できたな…

その2、母さんがときおり黒くなる理由がようやくわかった…

話変わるけど

「ねえねえ」 【な…に…？】 「なんて呼べばいいのさ？」

【え…誰を？】 「あんただよ！」 【ええ…敵とーでいいんだよそんなの…】

適当でいいのか…？ うん……………

「うん……………じゃあ……昌焰^{ショウエン} うん、昌焰！」

【で、特典だけどうめんどくさいからW八相に隠しキャラ入れました！】

「何やってんだよおまえ！」

【えゝだってめんどくさかったんだもん……黄昏の碑文に無いヤツだよ？

おもしろくなりそうじゃんWW】

「……もう作っちゃったのね……」

【イエゝスWW名前はねゝ 見定めるもの ヴァイスラーベ】

「ヴァイスラーベって……直訳したら白いカラスだよね……？

まあいいけど……」

【あはははははは………；；；】

そのあと、雑談やらなんやら…技の覚え方、身体能力の上昇などなどいろいろきいた。

夢からさめる時は霧がかかり、昌焰が最後なんか言っていたけど聞こえなかった…

夢、誰も知らない真実を

(後書き)

訳有は……まあ、有害な子 一言でいえば嫌われの悪女みたいな？
あれよりはまだましかな……？

昌・ショウ・焰・エン・

意味…盛ん。栄える。・ 明らか。美しい。 意味…炎、ほむら

命は栄え、美しい焰は燃え続ける。 なんていうありきたりな…；

てか戯言設定投下……！なぜかって？青・赤・橙・狐etc……
を出したくなってしまったのだ……

いろいろと名前とか考えてるんだよね
二つ名は 二つ名メーカーからですww

脳内妄想がもはや白兔ちゃんが零崎になってしまっている……どう
しよう？

ネコと私と青い少女 6／1 (前書き)

ありきたりなタイトルだな・・・

ネコと私と青い少女 6／1

今日は、愛ネコ スクルド と一緒に散歩しています
何日かって？土曜日です！ 亮くんは風邪ひいたので病院です

もつと他に別の意味があると思うけどね・・・

？

夢とのギャップがあるって？ それはあたりまえです

現実 女 夢 男 ですよ？ 使い分けないとぼろが出ちゃいますW

それにしても……スクルドは結構きれいなネコサンになってしまっ
たな・・・

『何さつきからボソボソ言ってるの？しろちゃん』

なぜかスクルドまで白ちゃん呼びに……！まあいいけどね

「ひつとりごとくW」『そう……今日は隣町まで行くけどついてくる
の？』

「うん、たまにはとうでもしないとね！」 『行動範囲の広い3歳
児って……一般から見たら異様ね……』

「あはははははは・・・」

ちなみに今の服装 フードつき長袖（赤）とジーンパン（黒）靴は普通に白いのです
帽子はウサちゃんの耳がついていますね……

あ、あれです少年サンデーで連載されていた魔王？の蟬？が来てた兎耳付きフードの服です！
わからない人は詳しい人に聞いてね☆

スクルドは黒い毛に蒼い鈴付き首輪がカワイイです

あれから40分くらい……見慣れない街並みを見るのはわくわくします！

今どこにいるのかって？緑が多いところですよ！
たしか……どこだっけ？どこだろ……わかんないや！

キャツキャツ ワー！ 逃げろー！ まてー！

うん、ちび子たちってホント元気だねー（あんたもね

公園だ……広いな……たとえるなら庄内緑地公園みたいなの？
（愛知県にあるよ）

小さいからそう思えるほど広いよ……

？ あっちのほうがなんか騒がしい……

「うわー青色の髪の毛だー！」 「気持ちわるーい！」

うん、てめーらのほうが気持ち悪いよ

てか青色？ 昌焰が言っていたこと思い出してしまった…
青色というと友ちゃんしか思い浮かばない……

ああ…下向いちゃった…相手の思うつぼだよ？

そのあと男の子たちが居なくなったから、近づいてみた

「……………」

「ねえ」 「？」 「なまえ、なんていうの？」

「……………」

「言いたくなかったら言わなくていいよ？」

バツ 「え……………」

「だって、言いたくないから言わないんでしょ？ だったら言わなくていいよ」

「あ！でも呼び方に困るから穹ちゃんて呼ぶよ？」

「なんで穹なの……？」 「空みたいにきれいな色した髪の毛だから！」

side 友

今日も家を抜け出して少し離れた公園に来た……理由？

あの家が嫌いだから、お兄ちゃんも同じ色なのにみんな私のことだけ嫌う……

なんで？って最初は思っていたけどもうどうでもいいや……

ブランコのところで座っていると 男の子たちが数人来た……

どうせいうことは一緒だろうと思っていたら案の定 お決まりの言葉だった

「うわー青色の髪の毛だー！」 「気持ちわるーい！」

うるさい……そんなの言われなくったてわかってるよ……！

そう思っていたら顔がしたおむいていたらしい

たくさん何か言ったあと男の子たちはどこかに行った……

「ねえ」 チラッと顔をあげて見て

いつの間にか近くに女の子？なのかな……フードかぶってってよくわからないけど……

3歳くらいの子が話しかけてきた……

「？」

「なまえ、なんていうの？」

正直言うと驚いた……みんな名前は聞かなかったのにこの子は聞いてきた……

でも、答える気はなくなっって顔を下げたら……そしたら女の子が

「言いたくなかったら言わなくていいよ？」

つといてきた 驚いてあげていた頭をあげてしまった……上げる
つもりはなかったのに……

「だって、言いたくないから言わないんでしょう？ だったら言わなくていいよ」

「あ！でも呼び方に困るから穹ちゃんて呼ぶよ？」

「なんで穹なの……？」 「空みたいにきれいな色した髪の毛だから！」

かつてに呼び名をつけられてしまった……でも
その子の言葉に少しだけ心が軽くなった……なぜだろう……心が温かい……

そのあと その子の名前も聞いた、名前は 龍崎白兔ちゃん……

うん、白兔ちゃんにぴったりの名前だ……

白兔ちゃん家の飼い猫 スクルドとも仲良く？ なったと思う……
猫は初めて触るからちよつと緊張した……ふわふわサラサラでいつまでもなでていたかった……

side end

自分の名前も言って、スクルドの名前も言って 穹ちゃんと遊びました。

穹ちゃんの本名が玖渚友^{クナギサ トモ}だってことも知っています…でもいいません
本人が言うまで言わないし聞かない…なぜかって？

そんな、人の心に土足で上がりこむような勇気自分にはありません。

穹ちゃんはずっとスクルドを撫でています…

スクルドもまんざらじゃなさそうです現きさつきから

『あゝそこ、そこそこ！もっと撫でてゝ♪』

って言ってるもん・・・穹ちゃんにはニヤアゝ♪ってしか聞こえて
ないみたいだけどね……

よし！帰ったら父さんに言って武術を習おう！↑はい？

しばらく（小2時間）ほど遊んで帰ろうとしたら

なぜか黒ずくめの人が公園の位置口にいま
した……

うん…なんで？

って思っていると穹ちゃんが車に近寄って話しています…

穹ちゃんが何か話しているけど・・・距離的に聞こえません！
あ、終わったみたいだ・・・

「ゴメン帰るね・・・」一言だけでも十分だ・・・そうか家の迎か・・・

スクルドをなでた後、穹ちゃんは車のほうへ行きました

「穹ちゃん！縁があったらまた遊ぼうね！」

っていったら びっくりした顔で振り向かれました・・・
大きい眼がさらに大きくなって・・・眼飛び出ちゃうんじゃないの？
って思っていたら

「うん！」つととびっきりの笑顔でうなずかれました

鼻血ものでした・・・てか黒ずくめの人たちもびっくりしていた・・・
あなたただけポーカーフェイスなのさ・・・

家に帰ると時間は何と6・・・15分でした、母さんに10分ほど怒られました

おなかの虫さん、ナイスタイミングで鳴ってくれました、ありがとうございます。

食事中、今日会った友達のことを話したら

「また会えるといいわね、その子と・・・。」と微笑んでくれました

ありがとう

ネコと私と青い少女 6/1 (後書き)

3,000アクセス超えた………！え？あ、あれ？嘘だよね？
え、だってほら…ね？もつと下だと思ってたからね？えっと…
っど、どうしよう……？

そして、自分の中の友ちゃんは最初っからあんな明るい子ではない
のです、最初は暗くついていーちゃんとかいろんな人にかかわって明
るくなったんだと自分は思っているんです。

穹 意味…おおぞら。青空。そらぎゆう蒼穹

デット・ブルーはまあ、切れた時の性格みたいなの？
っていう風にとらえてるだけなんだよね………

自分が持つてるのはクビシメとクビツリ いずむんとの人間関係く
らいだよ……；

全部早く買わなくては……学校にあったのは借りて読んだけど、記
憶力悪いから全ぜのぼ得てないよ………；；

6／3 思い出話（前書き）

実は、これ書く前に「父と私と散歩道」っての考えたんだけど…
それもいちゃっと先に行うことにしました
いっつもながらgdgd

6／3 思い出話

穹ちゃんと遊んでから早二日、今日は幼稚園がない日です。
家にいます！で、亮ちゃんも家にいます…！

亮ちゃんは普通に元気です、でも離れてくれません…暑苦しい…↑

あ、そうそう言い忘れて（語り忘れて？）ましたけど、

アバター
憑神の力ってリアルでも使えるんだね…（一部だけ…）
いい人か悪い人か見極められるようになりました。

まあ、それは置いといて

「でねでね、穹ちゃんの髪の毛ってお空みたいなきれいな髪してるんだよ」

「ふん…」

一方的に私がしゃべって亮ちゃんが詰まらなさそうに相槌をうつ
今は語りたいんだ！しゃべりたいんだ！

そのあといつも道理ではないけど抱きつかれたり遊んだり歌ったり

……

亮ちゃんて抱きつき癖でもあるのかな……？

そしてなぜか、今日はお泊まりだそうです………；

なんかいやゝナ予感が……

6／3 思い出話（後書き）

主人公の口調がgggg

なぜかクン呼びからチャン呼びに……

ああゝ暑い……！汗の量が半端ない……ダラダラでっってくる……

そして最後に、抱きつくのは寂しいからです
もち、二人ともね

ヤバイwwハセヲがすねて抱きつくとか萌えるww
と言うか、主人公が鈍感キャラに……どうしよう……？

6／4 脳内暴走中注意報発令中（前書き）

しばらく更新無理；；

なぜかって？レポート遅れてて親にしばらくPC禁止命令が出たからさww

ああ、このサイトが100文字おkならよかったのに……

6／4 脳内暴走中注意報発令中

やっほー白兔でーす

あれから2年たって5歳になりました！
作者の盆ミスで書き忘れていたらしい；；

今日はあんまり元気ないよー
なぜかってー？機能のカミングアウトに魂が飛んで行ってるからです

何があったかて……………？

亮ちゃん やっぱ二重人格だったわ……………（意味知らなかった
みたいだけど

話してみたら、亮ちゃん（表）、溜ちゃん（裏）

らしい・・・

どちらもかわいい

なぜかって？しゃべりかたがww

いうなれば朔と望みたいなかな・・・？

ばみよーんとかぶみよーんとかうにうにした顔で言われるともう・・・！

かわいすぎて鼻血ものです！

6／4 脳内暴走中注意報発令中（後書き）

ってタイトル読みにい！？ええーつと・・・のうないぼうそうちゅうちゅういほうはつれいちゅう

ちゅうおおいなあ……

登場人物設定は違うところに書いてある

自分の名前クリックしてみてね

幼少期最後にバツ！てザラッ！っと乗せるけどね……

7／5

ちょっと早い夏休みです (前書き)

姉のPCからの書き込みです。

姉専用と、家族専用があるんですが、家族専用のがぶっ壊れました；

またしばらく無理だと思います、すみません；；

思いついたのが途中までなんですみません；；そしてまた一ヶ月飛ばし；；；

7/5 ちょっと早い夏休みです

ハローハロー皆さん、私は皆さんより一足先に夏休みです……
・なぜかって？

親の都合です↑

はあ………

今日は何があったけ……？と思いながら

父の車に家族3人でドライブ中 どこに行くんだろうね……？

なぜか母はいつもは着ない青いグラデーションが綺麗な着物、父は
なぜか動きにくそうな服を着ている………

どこに行くんだろうね……本当に

なんか不安になってきたよ……

で、聞いてみたら

・ 「お母さんの家族に会いに行くのよ」って流されました……

高速道路だから窓開けないし……山なのか海なのかはつきりしない景色だし……本当にどこに向かっているんだろう

ね・・・

どうでもいいけど眠いから寝ます！

ついたら起こしてちょんまげ↑

＼2時間50分後＼

案外遠いな・・・・・・　　てか、お母さん起こし方怖いよなに

「おきなかったら顔に塩酸かけるわよ」って自分の子供に言うことじゃないよね!?(他人の子にも言うなよ・・・・・・・・・・;;

まあ、どうでもいいけど・・・・・・・・目の前に大きなお屋敷があります。

日本武家屋敷?っていうんだっけ・・・??なんかそんな感じの以下にもお化けが出そうn「お化けなんて出ないわよ、野良猫は飛び出してくるけど」うわぁ!?!びっくりした

「お母さんいきなり話しかけないでよ・・・びっくりするじゃんか・・・」

「そこでボーっとたっている白ちゃんがいけないのよ?早く入るなさい」

「はい」

>最近、ほとんどのキャラの性格がつかめない・・・・・・・・どうしよう

そんなこんなで、でっかい家に入り移動中

なんか、そこらかしこから視線が突き刺さっていますよマミー

ガラッ!

ええ!?!いきなりふすま開けましたよマミーが!!

「嗚呼、なんだいお前さんかいな・・・」

「おばあちゃん・・・・・・・・・・、私で悪かったわね」

Σ!?(。Д。)ええー!?いきなり喧嘩ですか!?

「はっ!いまさらなにしに着たんだい?」

「孫娘の顔をみせん」それを早くいいな」

(。v。)ん? 案がノリがいい人?なのかな、そこら変よくわかんないけど;;

「で、孫娘はどこだい?」 「ソコにいるじゃないですかWW」

「?・・・、おおーかわいい子だね」

「はじめましてー!ハクトでーしゅ!あれ? す!」

「おやおや、元気がいいねえ」

舌嚙んだのにスルーされました

まあいいけどね?????????!!

何故か、しばらくの間バーちゃんの家で過ごすことになりました
！！

裏山まであるでっかい家で？？？？？？です！
ああ~~~~~落ち着かない！

でも、凄く楽しみです！！！！

7／5

ちょっと早い夏休みです（後書き）

本当は「にゃ!」とか「ぷによーん」とか使ってほしかったけどそれは

楚良に使わせます!ので原作とは違った語尾とかが出てくるかも・
・?

アクセス6・000イキマシター!

そして、お気に入りに入れてくれた方!ありがとうございます!!

試しにWiiで書いたらかけました!

夏休みの間バアーちゃんの家でのんびりいきます!

7／7 七夕ですね 前（前書き）

実は、コレ書いてるとき全体とはいかないけど筋肉痛でした。；；

7/7 七夕ですね 前

やっほー

つととりあえず皆さんにお聞きます！

小さいころ七夕でなんてお願い書きましたか？

なぜかばあーちゃんの家では

七夕Ⅱプレゼントらしい・・・・・・・・・・

あ、そうそういい忘れ？てか作者の書き忘れですがもう2年立って
いて自分もう5歳です！

脳内暴走発令中って話、2年後の話なのに書き忘れていたらしい・
・・・盆ミスが目立つねこの作者

>ごめんなさーい！<

まあ、それはいいとして

短冊になにを書こう・・・・・・？
無難にゲームか？それともトランプか？

はたまた世界平和・・・・・・は無理だな・・・そんなんでかなったら世界中の戦争なくなってるよね！

まあ、夕方までに考えればいいからいいか・・・・・・

うん、裏山にまで散歩しに行こう↑

「ばぁーちゃん！裏山に遊びに行ってくるねー！」

「きおつけるんだよー！あと夕方にはかえってきてねー！」

「はーい！　いってきまーす！」

つといっても片道1時間かかります、コレはコレでいい運動だよね
(・w・) b

>自分は2時間で倒れるよ、体力内もん<

そんなこんなで山につき・・・・・・・・なぜか全力疾走
なぜかって？

山の動物は足が速いのさ！↑

なぜこうなっちゃった？

山についてすぐリス見つけたんだって、生んでしばらく見てると後ろから

グルルルルルッ！

ってうなり声、後ろ見ませんよ？だって、

ご近所にいる態度がくそ悪い希美ちゃん（飼犬）だもん！

ついでに言うところに住んでいるおにーさんはなぜか麦藁帽子をかぶ
ていて緑色ぽい髪してるんです。

まあ12歳くらいだけどね！

7／7 七夕デスネ 後

まあどうでもいいけどさ、

全力疾走て案外疲れるもんだね。；；

今何処にいるのかって？

うーん……………大体……………山の中腹ぐらい？分かんないけど；

ついでに希美^{キミ}ちゃん（飼犬）が言ってたこと←

“ なんて、アンタが此処にいるのさ！此処はアタシのテリトリーだよ！”

だってさ、もういないけど

七夕……………何かこう……………

護身用の短剣がほしい！

ダメか……………

じゃ……………

亮ちゃんのお嫁にオレはなる!↑

シャレにならん……………

う~~~~ん……………
……………

「ぐっちゃんあってみたい!!」

「呼んだっちゃ?」↑え

ギギギギギギギギギ

「よ！、こんな所で何してるだっちゃ？」

あれ？何でこの人此処にいるの？あれ？何で？え？マジこの人ぐっちゃんなのかい？

「おい？……………反応がない、まるで屍のようだったy「勝手に殺さないでくだしゃい」舌嚙んだちゃ」

この人……………
ウゼエエエエエエエ！！

「それで？此処で何してるだっちゃ？」

「散歩です！」

まあ、本当のことだしいいか……………

「ふーん」

返事短かつ！？

それから数時間後……………

「もう、夕方っちゃんね

ところで―――願い事何書くっちゃん？」

「まだ決まってるない」

「そうっちゃん」

まあ、何でもいいんじゃないっちゃんか？」

そう言われても…………….;;

あ！あれ書けばいいのか♪

＞七夕祭り無事終了！、何かいたかは秘密＜

7/7 七夕デスネ 後 (後書き)

自分の中のぐっちゃんこんな

小さい頃からあの口調、切れたときだけ素が出ると言う……………
まだ零崎じゃないよ

7/28ゝ7/30 7/31ゝ8/5 8/9ゝ8/15

この日は自分家にいないから更新むりです；；

それと、我が家にネコ2匹来ます！

自分ネコ好きだからめっちゃ嬉しいです！！

白と茶色のニケネコです！

8/21 長らく更新できなくてすみません；；続きが思いつか
なかったんです；

戯言、まだ2人しかでてぬえー

入学式 4/13 (前書き)

日付てけとー

入学式 4 / 13

作者が放置宣言から約半年、

リアルだとそんなにたつてないけどね！

>ひどい！まだ思いつかないでいるのに！！<

意味不明ー、まあ作者で遊んでる場合じゃ無いんだよねー

>ホントウニヒドイヨネ！！！！<

.....。

今、何処にいるって？

小学校の入学式だよ！これで分かるよね？

またも小学校に通うそうです……。

めんどくせえー………家でぐうーたらしてたいよー本当

おっと、いけない、いけないつい本音が出ちゃったよ☆

てか、校長の話し長いしー

約半年の間のことで少しはなそう！そして時間をつぶそう！↑ええー……………

まあ、ぐっちゃんとはめっさ仲良くなりました、今じゃーだっちゃんの方が珍しい

窮もとい！トモちゃんはPCとかに強くなった……………この前なんて手紙でフラグメント？がどーのこーの書いてあったし……………。おにーさんのナオ君？とは良好らしい、両親とはまだギスギスしてゐみたいだ

亮ちゃんは……………やめよう、思い出すだけ悲惨だ……………

簡単に言うとなれから夫婦中は最悪らしい、そのころから留は出てこなくなった、正確に言えば、消えたーに等しい

と、もう終わったらしい。

これから教室で自己紹介とかするのかな？

どうでもいいけどね。

入学式 4／13（後書き）

白兔も性格が曲がってきてます。

高校ではもはや伝説の不良になればいいよ！↑

まだまだスランプー

自己紹介 4. 13 (前書き)

名前でけとー

自己紹介 4. 13

？教室？

” 1ねん3くみ” と書かれたプレートが付いている教室に入った

「はい、みなさんこんにちわー」

「せんせいーい！ーこんにちはーじゃなくってーおはようございますーだよー！」

アハハハ！キャハハハ！

先生、間違えてるー！！

などはどミンナ言ってるけど、実際もうすぐお昼だよ？

「はい、先生の茶目っ気をとーらーないでー、なえるから。」

「せんせいーい！なえるってなにー？」

「きにしくっていいよー」

先生ひらがなやめろきしよい

「……………じゃーまずは、明日の連絡するよー」

「先生ー自己紹介はー？」

「ちっ……………」

じゃ、さくつとやりましょうか」

この先生舌打ちしたよ……！それでいいのか先生よ！「いいんです」↑

ツツ
コムのやめよ

「じゃ、最初h「はーい！はーい！！せんーせいからお願いしまーしゅ！す！」人が話してるときは黙って聞こうか、そして舌かむな

ええ
じや

先生の名前は

如月 淳キサラギ アツシて言います、

年齢は1、24歳で1す

好きなことは昼寝とお菓子です、

嫌いなのはめんどいこと――

趣味は……大人になればわかるよ」

.....

まるでだめな大人 略してマダオだな

「じゃー次は……………赤城 千晴くーん」

「はい！」

「ん、元気があってよろしい！次！」

「ええー！せんーせいまだオレ何にも言っていない！！！」

「じゃ、やれ」
「はい」

「オレの名前は赤城 アカギ
千晴 みんなと同じ6歳だ！」

好きなことは、サッカーと野球！

嫌いなのは、じつとしてること！

趣味は………趣味て何？
まあいいや！よろしく！」

「あい、次ー」

………
………
………です！よろしくな！」

いつの間にか次、自分じゃんてけとーでいいか。

「んじゃ、次ー」

「ういー、龍崎白兔でーす

好きなことは、食べることと寝ることー

嫌いなのは、五月蠅いのと、ウザいのと、安眠妨害。

趣味は散歩と昼寝

よろしくしたいなら勝手にしとけ

終わりー」

「はい、じゃ明日からよろしくねー

連絡事項はー………」

入学式が終わり、家に帰って、昼飯食って、夕飯食って、

明日の準備をして、風呂はいつて、寝て……………

(そーいやー亮ちゃん、2組だったけ……………)

自己紹介 4. 13 (後書き)

なんか

めっさグダグダ

転校生！

どうも！千晴チハルです！今回は俺が話す番なんだ！
＞今回は彼が進行役です！＜

小学校入学から2年たち、現在3年生なんだ！

友達もできたぜ！白兔や遥奈、それに竜夜や亮。亮は白兔繋がりで知ったんだ！すんげえー面白い奴なんだ！！

でもって、今日、6月22日

転校生が来るらしいんだ！クラスの噂だと女子らしい、どんな奴かな？

面白い奴だったら嬉しいな！

なーんて思っていた数分前の俺を殴りたい ↑え

「初めましてえ、愛華は紅乙女愛華て言いますうーみんなあーよろしくねえ？！」

転校生は紅乙女愛華で言うらしい、

正直に言おう、

気持ち悪い！！！！！！！！！！

なんなんだアレ！？語尾延ばしすぎだろ！？そしてなんか臭い！！
俺、鼻良いから臭いに敏感なんだけど、コレ、鼻

死ぬわ

転校生！（後書き）

なんだ！ 口癖になりそうだねww；
チハル君、君途中から口調が全然違うぜ？どうしたんだい？

にゃふうゝ(前書き)

久々更新、ネタがgggggggg

(*f*)オモイツキマセン;;;

にゃふう

はい、皆さん、お久しぶりです。

主人公（？）の白兔です。

今日、6月22日火曜日、転校生が来ます。

あ、タイトル関係ないですよ？今回は！今回はね！（大事なことなので二回言いました／思いました）

その転校生が問題です。

……………

「初めましてえゝ紅乙女愛香てえ言いますうゝ、みんなあゝ、よろしくねえゝ？」

……………

むっちゃ語尾のばすーあのー

ーあのー！キチガイおn（＜c＞；
ゲフンゲフン）

はあー、これから大変だわ；；

にゃふうく（後書き）

夜中クオリティー

そして、めんどいからもう3年ー

ごめんなさい！

眠いシ……………ネタ思いつかんし……………

最近TOVとかTOSーRとかの夢にはまり、ヒロインが黒で笑い……………方向性間違えそう；；

日常？

転校生が来て数日、

クラスの子達が怖いです。；；

皆に無視されてるのに気づかないって……………どんだけよ？

「おい、白兔ー聞してるのかー？」 「聞いてないよー」

「え……………？」

「嘘だよー」

多分、」

「え？ ちょ……………多分て……………」

ひどいよー白ちゃん！！」

……………。

「留おひさー」「うん！ おひさー！」「元気だねー」「元気だよー」
「！」

「って、何ほのぼのと会話してるんだよ俺！！」

「おかえりー」

「ん

転校生も「ウザい、キモい、キシヨい」

何も言っていないだろ！？」

「亮ちゃんが考えてることは手に取るように分かるのですよ☆」

「うす……ゴメンナサイ；」

「分かればいいのさ分かれば

で？」

「で？って……；」

「聞きたいことは何ですかー？」

「あー……転校生でどんな奴？」

「今更ながらの質問だね」

「今気になったからな」

「まあいいか、うん簡単に言うところ
ぶりっこで超前向きで超鈍感」

「んーと………たしか………えーと……「夢小説に出てくる
悪女」そう！それだ！」

「その認識で合ってるから変えなくていいよ」

「まあ、コレ自体夢小説だしね」

「あ……！」

「どうしたんだ？」

「母さんが「今日、亮くん連れてきてね☆」って言った、忘れてた」
「おいおい……」

てことは、このままお前の家に行けばいいんだな？」

「まあ、そうだね

コンビニ弁当だけじゃ心許ないしね」

「それは俺が不健康だと言いたいのか!？」

「え? 違うの?」

「いや………違いなくはないけど」

「ならOK♪」

さ! さっそく家に入ろうか!

「はあ!？」

「なに驚いてんの?」

「え!?! いや ええ!?!」

なん!?! ええええ!?!?」

「うるせえ………」

ドゴォッ! ↑蹴る

ゴッ! ↑ぶつけた

「~~~~~!？」 ↑痛みに悶える

あははは、どこのコント?

家に入って、ゲームとかして、時間潰して、母さん帰ってきて、夕飯の準備して、父さん帰ってきて、亮ちゃんと一緒に夕飯食べて、食べた後、亮ちゃんは家に帰りました。

日常？（後書き）

途中から書くのめんどくさくなったWWW

次、

暇つぶしでやった白ちゃんの姓名判断！

白兎ちゃんに姓名判断したら……………¢ (前書き)

息抜きにやってみたら……………

白兔ちゃんに姓名判断したら……………¢

龍崎白兔 総画数39 優

この画数を持つ人は、‘自分よりも周囲を優先する人’。

兄弟の中で一つのものしか与えられなければゆずったり、独り占めできるものでも、

友人のぶんはないかと考えたりしたのかもしれませんが。

大人になっても、あなたは、気配りのできる人として評判になるはず。

だれもが嫌がることを引き受け、みんなが欲しがるものを差し出す。あなたのつつましやかな部分は、ずいぶん感謝されてきたに違いありません。

優しい気質を持っているのですから、面倒見がいいのは当然のこと。親しくなった人はみんな、あなたの優しさに気がつきます。

極端な話、自らを犠牲にしてまで尽くす姿を尊敬している人も少なくありません。

ただ、どうやらあなたには少し愛想が足りないようです。

つくり笑いに嫌悪感を覚えるせいかもしれませんね。

特に初対面の人には、とっつきにくいと感じられてしまう場合が多いようです。

若いころは、強く自己主張ができず、苦勞を抱えることが多いのですが、

その一つ一つが、確実にあなたの實力になっていきはす。

それらが積み重なり、味方が増える晩年、あなたはきっと大きな成功を手に入れるでしょう。

白兎ちゃんに姓名判断したら……………¢（後書き）

コピペじゃなく、見ながら書いたから腕が痛い……………

?

ザッ、ザアーーーーー……ザアッ……

(?)

砂嵐?)

ザアーーーーー……

>ワ……サヤY……<

ザザアーーーーー……

(砂嵐が消えてく……)

>アナタ……ハ……ダレ?<

>ララ<

>ララ?<

>ウン<

(ララ？さっきサヤて言ってたし

どっかで聞いたことが……………

！！)

ブウン……………！

(場面が……………！)

ガチャツ…

＞お祖父ちゃん？あれ？部屋にいないや……………

？ パソコン点けっぱだ……………

ン？

、フラグメント？<

ザツ…………ザザアア……………

.....!

ブツン...!

(消えた.....)

>.....オ.....タS.....ケ.....テ.....!<

「わぁ!?!」ガバツ!

それが、今日見た夢だった

でも、何故あのとき気づかなかったのだろう.....

物語はもう始まってしまっていたことに……………

? (後書き)

ドットハック セカイの向こうに

・hackがまさか来年映画になるとは……………!!
資料集めてこずてます;

本屋さんにhack／黄昏の碑文がないとは!! ゲームは無印
の3の途中までPS2さんがグレてます(???)

Wikiで黄昏の碑文を見てて書きたくなったから急いで書いたら
こんなことに……………ダメだー、

自分の住んでいるところ最近地震が多い……………1ヶ月に2回って………

※名古屋に住んでまーす

始まり、ハジマリ。

あの変な夢を観てから数年と数ヶ月、

学校ではいろんなことが起こり（主にアイツが中心で）、世間ではオンラインゲームの話ばかり。

それは自分達の学校でもいえることだけど……………

今、話題のオンラインゲーム

The ^ザWorld ^{ワールド}

数年前までそんなに有名じゃなかったこのゲームが話題な理由……………

……………

それは一体何なんだろうね？

って、言っても「hack」をプレーした人なら分かるよね？

それは……………

予想以上に集まるハッカー達

何故、彼らが集まるかというと、

「黄昏の碑文」が有るからだろうね

まあ、真相は彼らに聞かないとわからないし、これは僕の考えだから違うかもしれない。

で、何でこんな話をしたかって？（口調きもいとか言うな！）

今現在、楚良こと亮ちゃんと初プレー中だからです！

始まり、ハジマリ。(後書き)

はい！

テケトー

気づかぬうちにアクセス数が gggggggg..!

そして、コマツな！が凍結とは.....うう.....

小話 そのイチ！

どうも、初めまして

私、井伊遥奈^{イイハルカナ}と言います。

私が、私達が通う学校、仏主学校、は小中学校一貫の学校です。

そして、今回は私の学校で有った話です。

小2の時、クラスで髪の毛が白い子を見つけました、

でもその白さは染めた物ではありません、（なにを根拠に？）

あの子の眼を見れば分かります。彼女はアルビノです、

そんな彼女を見つけたとき怖いと思う反面、羨ましかったのです。

そして、ある日

「ねえー、井伊さん」

声をかけられたときはビックリしました、そして彼女が私のことを知っていることにも……………

学校での話、

彼女 竜崎白兎さんは人の名を覚えることはあまり無いそうです、まるで兄の様です……………

「おい、井伊くさん？」

「えっ…………？あ！はい

何でしょう？」

「んーと……………次の授業って
班決めるんだよね？」

「はい、そうですよ？」

そう言えば、次の授業 総合は班決めでしたね……………

また、残るのでしょうか……………？

「んでね、先生が5、6人で、って言ってたから、5人目を井伊さんにしようと思って言いに来たのー」

「……………（？△？）ポカーン」

え？今何て……………？

「ん？」

「おい、戻ってこーい」

「何故、私を入れる気になったんですか？」

「ん？目に入ったから」

「それだけですか？」

「うん、それだけ」

「本当に？」

「本当に」

「嘘じゃ」

「嘘じゃ無いよー」

このあと、放課が終わるまで女子二人が嘘か本当か言い合っていた
そうなの……………

そして、井伊さんは晴れて僕の班に入りました、いや、ザレゴト戯言の人が同じクラスとは……………！
これは関わらなきゃ損でしょ！？
しかも井伊遥奈ちゃんだし！

入るまでの放課口論は未だに噂されています；；

小話 そのイチ！（後書き）

遥奈ちゃん

何故かですます口調……………まあいいか！

学校名 ふつぬし 仏主です！

意味？調べてません！！

暇つぶしに小話をW W

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7036t/>

白ウサギの気紛れ

2011年11月29日14時45分発行